

平成18年7月 4日

報道・出版関係者 各位

東北大学百周年記念事業実行委員会

委員長 大西 仁

第6回 東北大学100周年記念セミナー開催について
「文明の危機とグローバルコミュニティの再生」

東北大学(仙台市、総長:吉本高志)は来年の2007年に創立100周年を迎えます。これに向け、昨年より「TOHOKU UNIVERSITY, CREATING GLOBAL EXCELLENCE」(東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します)をキャンペーンスローガンとして、「東北大学100周年キャンペーン」を開始いたしました。

キャンペーンでは、新しいロゴマークの制作やメールマガジンの発行、地域との交流などを進めておりますが、その中心をなすのが、東北大学と日本経済新聞社の主催による、東北大学100周年記念セミナー「科学が次の100年で創り出せること」です。毎回、テーマを絞り、人類社会が今後100年間で直面する問題に、人文・社会科学も含めた科学がどのような貢献をなし得るのかを探求します。

これまで5回開催し、多数の応募の中から抽選で約600名の方にご参加いただき、東北大学の最先端の研究成果をわかりやすくご紹介いたしました。第6回は、「文明の危機とグローバルコミュニティの再生」というテーマで、下記のとおり開催いたしますので、ご多用の折とは存じますが報道・出版関係の皆様におかれましても、誌面づくり等の参考にぜひ臨席賜りますようご案内申し上げます。

記

日時: 平成18年8月2日(水) 13:00~17:00(開場12:30)

会場: 日経ホール 【日本経済新聞社東京本社8階】

東京都千代田区大手町一丁目9番5号(地下鉄大手町駅下車)

〈第6回セミナーの概要〉

近年のグローバル化によって、人間の活動の場は大きく広がり、人類はかつてない豊かで便利な生活を享受しています。しかしその半面、現代のビジネスや人々の日常生活を支えるグローバルなインターネット網はハッカーの攻撃によって寸断される危険に常にさらされています。また、いったん環境汚染・感染症・大規模災害が発生するとその被害は直ぐに国境を越えて拡大します。さらに、大量の武器や麻薬の国際取引の結果、多くの生命と健康が失われています。その意味で、現代社会はこれまでになく脆弱化しており、人類文明は危機に瀕しているとの見方さえあります。

今回のセミナーでは、大規模災害、BSE、新型ウイルス感染症、対人地雷、ハッカー攻撃に立ち向かい、また、天体としての地球の国際共同観測を通じて美しい地球を取り戻そうと奮闘する東北大学の研究者たちが、最先端の研究成果を基に、グローバルコミュニティ再生への道について語ります。

URL <http://www.tohoku.ac.jp/seminar100/>

お手数ですが、取材をご希望の際は、7月17日(月)まで下記へお知らせいただくようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ

東北大学総務部百周年記念事業室

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1

TEL 022-217-5059

ファックス 022-217-5030